

令和 2 年度新規事業
障害者支援施設ICT機器導入支援モデル事業

応募申請について

令和 2 年 2 月 1 7 日（月）

東京都	福祉保健局	障害者施策推進部
施設サービス支援課	障害者支援施設担当	

目次

1 募集概要

2 提出書類

3 応募方法

1 募集概要

区分	対象施設	募集数
ICT機器の導入	障害者支援施設 (入所施設)	3 施設
ロボット介護機器の導入	障害者支援施設 (入所施設)	3 施設

- ・応募の上限

「ICT機器の導入」と「ロボット介護機器の導入」のそれぞれについて、1 法人あたり、1 施設ずつを応募の上限とします。

応募の上限（具体例）

- ・ ○○法人がA施設とB施設の 2 施設を運営している場合

施設名	パターン①	パターン②	パターン③
A施設	I C T	I C T	ロボット
B施設	I C T	ロボット	ロボット
応募の可否	×	○	×
詳細	一方の施設しか I C Tの区分で 応募できません	1 法人 1 施設ずつの 条件にあてはまるため 応募可能です	一方の施設しか ロボットの区分で 応募できません

2 提出書類

様式「モデル施設応募申請の提出について」

ア 業務改善計画書（補助金交付要綱別紙 1 - 3）

イ 理事会の議事録

ウ 誓約書（補助金交付要綱別紙 1 - 4）

エ 施設平面図

ICT 別紙 1 - 3 - 1
ロボット 別紙 1 - 3 - 2

（対象施設以外が区域に含まれる場合は区別できるよう色分けを）

オ 施設のパンフレット（作成している場合）

カ その他参考となる資料（検討している機器のカatalog等）

申請様式に、アからカの書類を添付して提出。

2 提出書類

様式「モデル施設応募申請の提出について」

ア 業務改善計画書（補助金交付要綱別紙 1 - 3）

イ 理事会の議事録

ウ 誓約書（補助金交付要綱別紙 1 - 4）

エ 施設平面図

ICT 別紙 1 - 3 - 1
ロボット 別紙 1 - 3 - 2

モデル施設は、
業務改善計画書の記載内容を
総合的に審査の上、決定します。

を)

申請様

ア 業務改善計画書 主な項目

I 法人・事業所の基本情報

II 導入・活用に向けた計画

- 1 現在の機器活用の状況
- 2 応募申請に当たっての検討状況、導入に向けた組織体制
- 3 現状の把握、課題の抽出や分析、改善に向けたアイデア
- 4 機器を活用して取り組む業務改善計画
- 5 導入したいと考えている機器

III その他

- 1 過去5年での業務改善の取組
- 2 アピールポイント

※機器は、モデル施設に決定後、アドバイザーと相談して最終決定します。
応募段階では、あくまで想定で構いません。

業務改善計画書作成に際して

ロボット介護機器は、「導入すれば課題がすべて解決できる」わけではない。

実際に多くの介護施設がロボット介護機器を導入する一方、効果が期待していたほど得られない事例も多く見られた。

ロボット介護機器の導入による効果は、

導入機器の適切性、導入前の計画性及び導入後のマネジメント等により、大きな差が生じている

「ロボット介護機器・福祉用具活用支援モデル事業報告書

平成30年3月発行 発行者：東京都福祉保健局高齢社会対策部」より

業務改善計画書 作成に向けて

手順 1	準備をしよう	☐ 改善活動をするプロジェクトチームを立ち上げる
手順 2	現場の課題を見える化しよう	☐ アンケート等を実施し、施設内の意見を集める ☐ 集まった意見をもとに施設の課題や困りごと、アイデアをチームで分析する
手順 3	I C Tやロボットで改善できそうな課題を選ぼう	☐ どんなI C T機器やロボット介護機器があるか調べる ☐ I C T機器や介護ロボットを活用することで改善できそうな課題を抽出する

参考：より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）を一部加工 平成31年3月発行 発行者：厚生労働省老健局高齢者支援課

【参考】施設内アンケート例

■気づきシート

サービス種別: _____ 氏名: _____ 職位: _____

日ごろの業務を行っている際に感じた 問題点について、自由に記述してください。
1シートに1つの「気づき」を記載してください。

いつ(タイミング)? — どこで(どの場面で)?

何を?どんな気づき?

(人間関係、マネジメント、介護技術、人手不足など)

(必要ならば、絵など入れる。写真の別添も歓迎)

参考：より良い職場・サービスのために今日からできること（業務改善の手引き）を
一部加工 平成31年3月発行 発行者：厚生労働省老健局高齢者支援課

提出書類 記入例

配布している記入例をご覧ください。

議事録を添付してください。

3 応募方法

(1) 提出部数

書類正本 1 部 と 正本の写し 1 1 部

(2) 提出方法

郵送（業務改善計画書はあわせてExcelファイルでメール提出）

(3) 提出先

東京都福祉保健局障害者施策推進部

施設サービス支援課障害者支援施設担当

※封筒表面に「ICT機器等モデル施設応募書類在中」と明記

service.siensisetu.tyousa@section.metro.tokyo.jp

(4) 提出期限

令和 2 年 3 月 2 7 日（金曜日）必着

事前意向調査

対象施設宛てに
メールで依頼します

(1) 目的

東京都モデル事業への応募について、全体の動向を予め把握する

(2) 提出方法

メール

(3) 提出先

東京都福祉保健局障害者施策推進部

施設サービス支援課障害者支援施設担当

service.siensisetu.tyousa@section.metro.tokyo.jp

(4) 提出期限

令和2年2月28日（金曜日）

資料の掲載場所

(1) 本日配布した資料

○東京都福祉保健局ホームページ

東京都福祉保健局＞障害者＞事業者の方へ

＞令和２年度 障害者支援施設ＩＣＴ機器導入支援モデル事業

○東京都障害者サービス情報

トップページ＞書式ライブラリ

＞Ｃ 障害者支援施設ＩＣＴ機器導入支援モデル事業

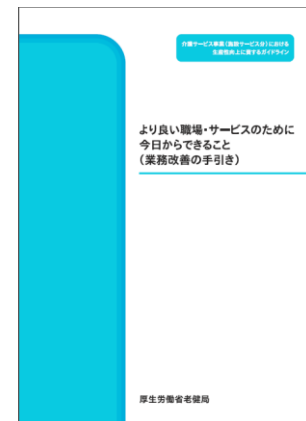
資料の掲載場所

(2) 参考資料

○より良い職場・サービスのために今日からできること
(業務改善の手引き)

平成31年 3 月発行 発行者：厚生労働省老健局高齢者支援課

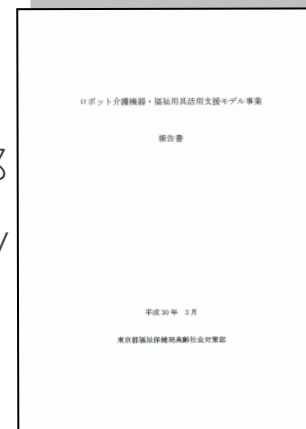
<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000487520.pdf>



○ロボット介護機器・福祉用具活用支援モデル事業報告書

平成30年 3 月発行 発行者：東京都福祉保健局高齢社会対策部

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kourei/shisaku/jisedaikaigo/robotmodel.html>



ご清聴ありがとうございました

- ・ 本日の説明は以上になります。
- ・ アンケートへのご協力をお願いいたします。

